

2021年 1 月31日実施

令和 2 年度 (第 64 回)
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第 2 級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 9 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】～【6】は共通問題です。
5. 【7】の問題はJava・マクロ言語のいずれか一つを選択し、解答用紙の
選択言語を で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 米国に本部があり、電気・電子・通信分野における標準規格の策定を行う世界規模の学術団体。
2. 大域変数とも呼ばれ、プログラム中のどこからでも値へのアクセスが可能な変数。
3. インターネットで通信を行う際、一定の大きさに分割したデータに、宛先や経路情報などを付加した伝送単位。
4. 一定のルールにしたがって、第三者が判読できないように変換されたデータを、元のデータに戻すこと。
5. 原始プログラムを翻訳する際、コンパイラから指摘される構文エラーやスペルミスなどの誤り。

解答群

ア. グローバル変数	イ. 復号	ウ. 論理エラー
エ. テザリング	オ. JIS	カ. パケット
キ. 文法エラー	ク. ローカル変数	ケ. 暗号化
コ. IEEE		

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. GIF 2. Wi-Fi 3. フリーウェア
4. ピアツーピア 5. シーケンスチェック

- <B群>
- ア.** データが昇順であるなど、対象となる項目の値が、あらかじめ定めた順序に並んでいるかを確認する検査。
 - イ.** 主にインターネット上で公開され、試用期間の終了後に継続して使用する場合や、機能制限を解除する場合は、作成者などに対価を支払う必要があるソフトウェア。
 - ウ.** シンセサイザーなどの電子楽器の演奏データを制御するための規格であり、音程や音色などをデータとして保存するファイル形式。
 - エ.** 無線LANの中で、異なる機器同士であっても、相互に接続可能であることが保証された機器に与えられる名称。
 - オ.** 主にインターネット上で公開され、著作権は放棄されていないが、無料で利用できるソフトウェア。
 - カ.** 光ファイバ通信網のように、高速かつ大容量な通信が可能なインターネット接続サービスの総称。
 - キ.** データが下限値から上限値の範囲内であるなど、対象となる項目の値が、あらかじめ定めた範囲内に収まっているかを確認する検査。
 - ク.** ネットワーク内において、互いのコンピュータが対等な関係にあるネットワーク形態。
 - ケ.** 画像描画において256色までの色情報を扱うことができる、アイコンやイラストに多く用いられているファイル形式。
 - コ.** ファイルサーバなど、サービスを提供するコンピュータと、そのサービスを利用するコンピュータで構成されているネットワーク形態。

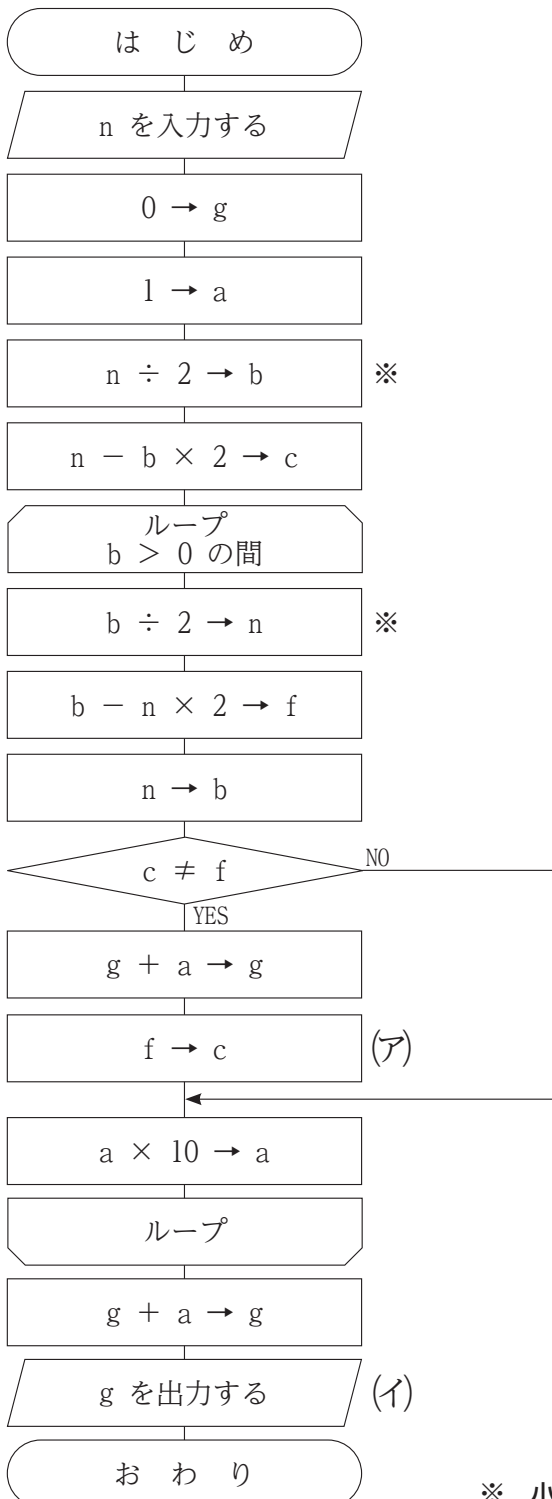
【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 27 と2進数の 1101 との差を表す2進数。
ア. 1 イ. 110 ウ. 1110
2. 事務処理を目的として開発された、ファイル処理に優れている手続き型のプログラム言語。
ア. Java イ. COBOL ウ. マクロ言語
3. ソフトウェアの設計ミスや不具合によって発生する、システムにおける安全機能上の欠陥。
ア. フルコントロール イ. セキュリティホール ウ. ファイアウォール
4. 磁気ディスク装置において、磁気ヘッドをディスク上の所定の位置に移動させるための部品。
ア. トラック イ. セクタ ウ. アクセサーム
5. 利用するネットワークに負荷をかけないことなどを目的として、データの意味を保ったまま、ファイルサイズを小さくすること。
ア. 圧縮 イ. 拡張子 ウ. 解凍

【4】 流れ図にしたがって処理するとき、(1)~(5)を答えなさい。なお、入力する n の値は 1 以上の整数とする。

- (1) n の値が 9 のとき、(ア)の処理を2回目に実行したあとの c の値を答えなさい。
- (2) n の値が 9 のとき、(イ)で出力される g の値を答えなさい。
- (3) n の値が 18 のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。
- (4) n の値が 18 のとき、(イ)で出力される g の値を答えなさい。
- (5) 流れ図の処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。ア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 処理を終了したとき、 n の値は必ず 1 である。
 - イ. 処理を終了したとき、 c の値は必ず 0 である。
 - ウ. 処理を終了したとき、 c の値は必ず 1 である。

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある路線バスにおける区間ごとの乗車中人数データを読み、乗車率一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

区間 (Kukan) ×～×	乗車中人数 (Ninzu) ××
----------------------	------------------------

(第1図)

実行結果

(乗車率一覧表)		
(区間)	(乗車率(%))	(備考)
○停留所－△停留所	34.6	混雑なし
△停留所－□停留所	92.3	
}	}	}
◇停留所－▲停留所	200.0	混雑
▲停留所－◎停留所	69.2	混雑なし
(乗車率(%))が80未満の区間数	23	
(最小の乗車率(%))	3.8	
(乗車率(%))が最小の区間) ▽停留所－◆停留所		

(第2図)

処理条件

1. 第1図の入力データを読み、乗車率(%)を次の計算式で求め、第2図のように表示する。なお、座席数は 26 である。また、備考は乗車率(%)が 80 未満の場合は 混雑なし を、80 以上 140 未満の場合は空白を、140 以上の場合は 混雑 を表示する。

$$\text{乗車率(\%)} = \text{乗車中人数} \times 100 \div 26$$

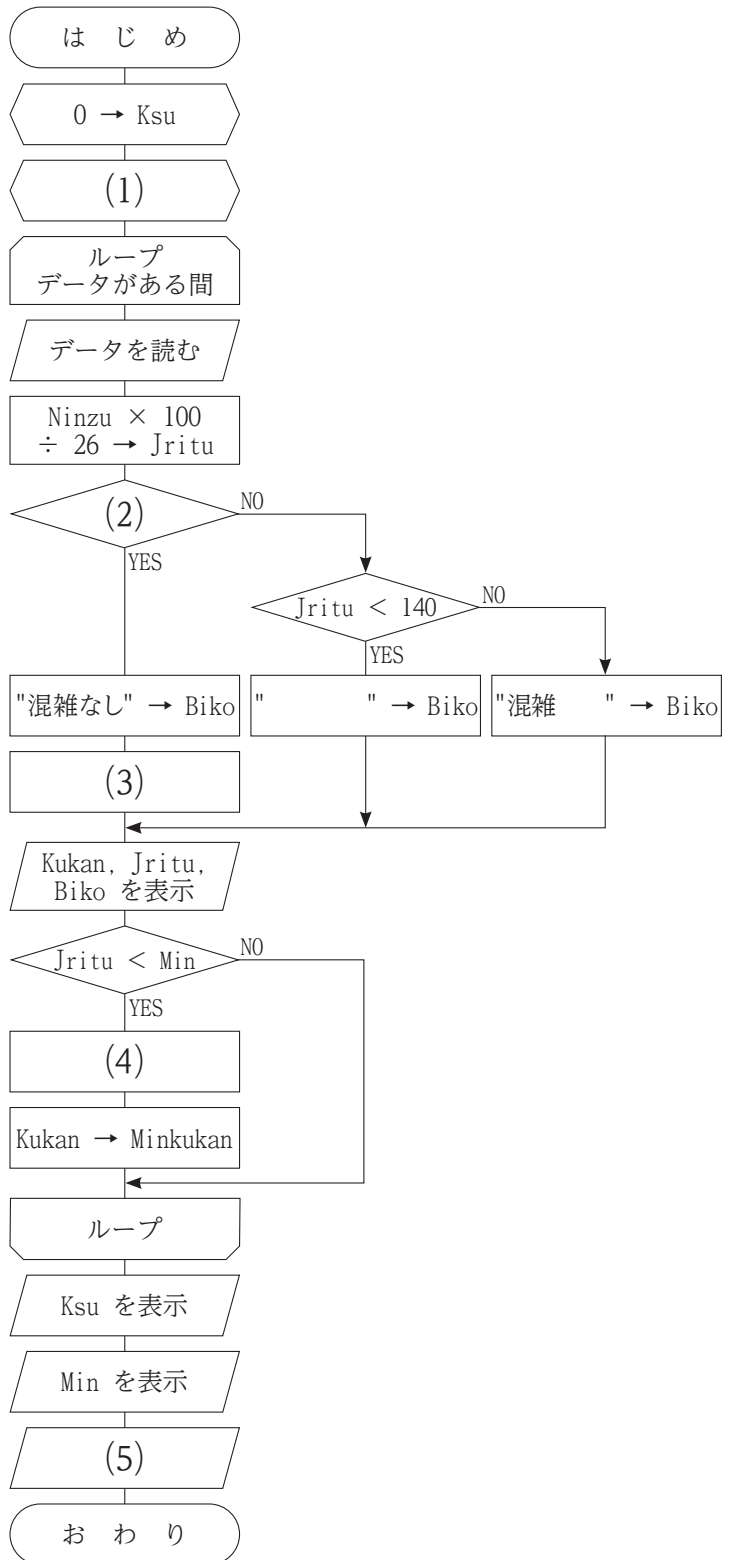
2. 入力データが終了したら、乗車率(%)が80未満の区間数、最小の乗車率(%), 乗車率(%)が最小の区間を第2図のように表示する。なお、最小は同じ乗車率(%)があった場合、先に入力されたデータを優先する。

3. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Ninzu → Min
- イ. Jritu < 80
- ウ. Minkukan を表示
- エ. Jritu > 80
- オ. 999.9 → Min
- カ. Jritu → Min
- キ. Kukan を表示
- ク. Ksu + Ninzu → Ksu
- ケ. 0 → Min
- コ. Ksu + 1 → Ksu

<流れ図>



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある人力車による観光サービス会社の1か月分の営業データを読み、社員別売上集計表をディスプレイに表示する。

入力データ

売上番号 (Uban) ××××	社員コード (Scode) ×××	コース番号 (Kban) ××	サービス番号 (Sban) ×	(第1図)
------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	-------

実行結果

(社員別売上集計表)						
(社員名)	(顧客乗車回数)	(コース料金計)	(サービス料金計)	(売上金額計)	(売上金額計/回)	(判定)
山田○○	48	922,000	26,000	948,000	19,750	◎
鈴木▽▽	49	523,000	26,000	549,000	11,204	
}	}	}	}	}	}	}
佐藤◇◇	51	658,000	22,000	680,000	13,333	
高井□□	46	827,000	42,000	869,000	18,891	◎
(合計)	1,585	20,468,000	966,000	21,434,000		

(第2図)

処理条件

- 第1図の社員コードは30種類であり、コース番号は 1 (1名乗車10分) ~15 (3名乗車120分) の15種類、サービス番号は 0 (なし) ~3 (着物貸出) の4種類である。
- 配列 Scod に社員コードを、配列 Smei に社員名を、配列 Kryo にコース料金を、配列 Sryo にサービス料金を記憶する。なお、Scod と Smei の添字は対応し、Kryo の添字はコース番号と、Sryo の添字はサービス番号と対応している。

配列

Scod	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
		M01	M03	~	D05	NO1
Smei	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
		山田○○	鈴木▽▽	~	佐藤◇◇	高井□□
Kryo	(0)	(1)	(2)	~	(14)	(15)
		4000	7000	~	25000	35000
Sryo	(0)	(1)	(2)	(3)		
		0	1000	3000	4000	
		(なし)	(写真撮影)	(浴衣貸出)	(着物貸出)	

- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 社員コードをもとに配列 Scod を探索し、配列 Jkai に顧客乗車回数を、配列 Kkei にコース料金を、配列 Skei にサービス料金を集計する。なお、Jkai(0), Kkei(0), Skei(0) には合計を求める。また、Jkai, Kkei, Skei の添字は Scod の添字と対応している。

配列

Jkai	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
				~		
Kkei	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
				~		
Skei	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
				~		
		(合計)				

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 社員ごとに売上金額計と売上金額計/回を次の計算式で求め、社員名から判定までを第2図のように表示する。なお、判定は売上金額計が 700000 以上または売上金額計/回が 15000 以上の場合は ◎ を表示する。

売上金額計 = コース料金計 + サービス料金計

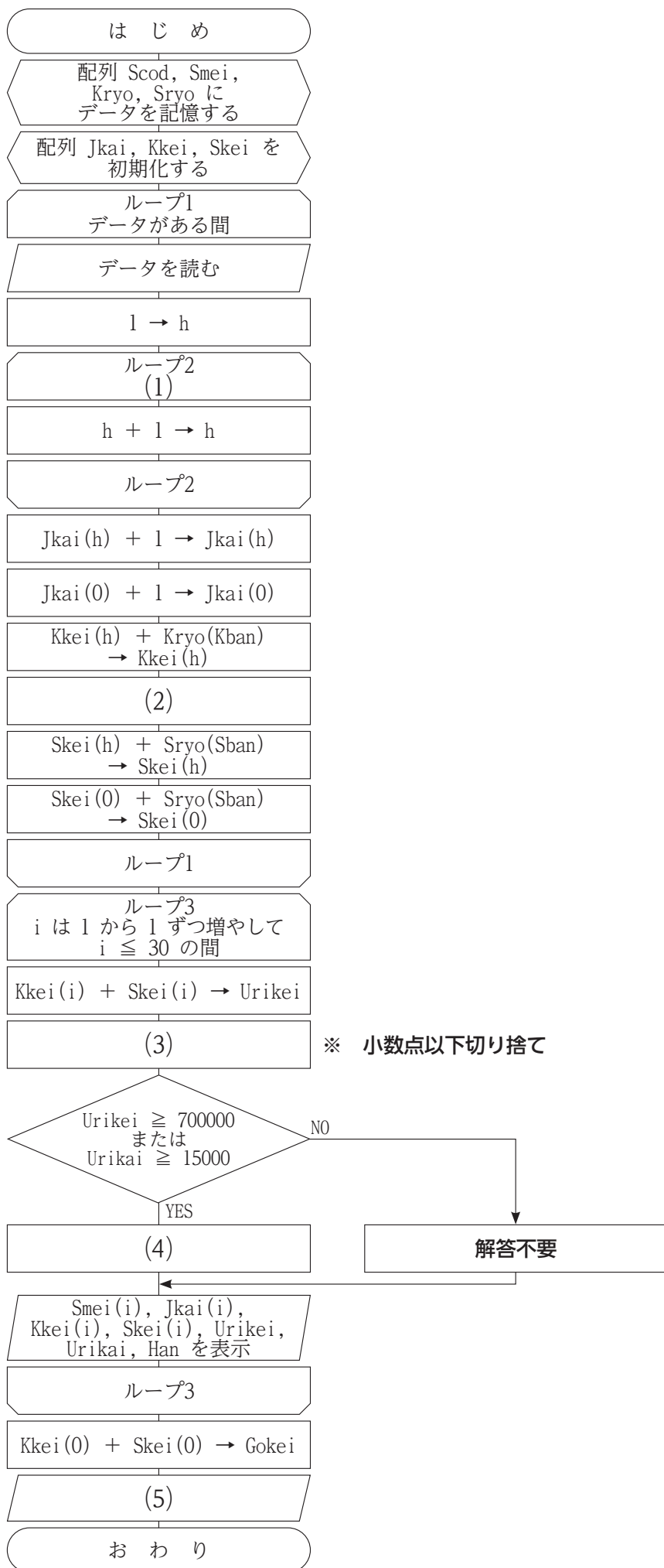
売上金額計/回 = 売上金額計 ÷ 顧客乗車回数

- 顧客乗車回数から売上金額計までの合計を第2図のように表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Urikei ÷ Jkai(i) → Urikai
- イ. " " → Han
- ウ. Jkai(i), Kkei(i), Skei(i), Gokei を表示
- エ. "◎" → Han
- オ. Urikei ÷ Jkai(0) → Urikai
- カ. Kkei(0) + Kryo(Sban) → Kkei(0)
- キ. Scod(h) ≠ Scode の間
- ク. Jkai(0), Kkei(0), Skei(0), Gokei を表示
- ケ. Kkei(0) + Kryo(Kban) → Kkei(0)
- コ. Scod(h) = Scode の間

<流れ図>



[7] プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある旅館の利用者アンケートのアンケート回答データを読み、集計結果を表示する。

入力データ

アンケート回答データ (ファイル名: anketo.csv)

回答番号 ××××	年齢 ×××	評価項目番号 ×	評価 ×
--------------	-----------	-------------	---------

(第1図)

実行結果

評価項目番号を入力してください→2

【評価項目名: 食事】

年代区分	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
60歳以上	110件(44.0%)	80件(32.0%)	56件(22.4%)	4件(1.6%)	0件(0.0%)
40~59歳	96件(48.0%)	44件(22.0%)	54件(27.0%)	5件(2.5%)	1件(0.5%)
20~39歳	92件(46.0%)	56件(28.0%)	49件(24.5%)	2件(1.0%)	1件(0.5%)
19歳以下	39件(31.2%)	41件(32.8%)	42件(33.6%)	1件(0.8%)	2件(1.6%)

評価項目番号を入力してください→3

【評価項目名: 接客】

評価項目番号を入力してください→0

(第2図)

処理条件

- 第1図の評価項目番号は 1 (客室) ~6 (料金) であり、評価は 1 (不満) ~5 (満足) である。なお、すべての評価項目名においてすべての年代区分のデータがある。
- 配列 hyoMei に評価項目名を記憶する。なお、hyoMei の添字は評価項目番号と対応している。

配列

hyoMei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
		客室	食事	接客	風呂	設備	料金

- 回答情報を管理する Kaito クラスをインスタンス化し、配列 kt に記憶する。なお、kt の添字は評価項目番号と対応している。

配列

kt	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

- 配列 nenKubun に年代区分を記憶する。

配列

nenKubun	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
		19歳以下	20~39歳	40~59歳	60歳以上

- 第1図のアンケート回答データを読み、次の処理を行う。

- 配列 nenSu に年代区分ごとの回答件数を求める。なお、nenSu(4) には60歳以上の回答件数を求める。

配列

nenSu	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
		(19歳以下)	(20~39歳)	(40~59歳)	(60歳以上)

- 配列 hyoSu に年代区分ごとに各評価の回答件数を求める。

配列

hyoSu	(0)	(1)	~	(5)	~	(16)	~	(20)
		(不満)	~	(満足)	~	(不満)	~	(満足)
		(19歳以下)			~	(60歳以上)		

- データを読み終えたあと、キーボードから評価項目番号が入力されたら、次の処理を行う。

- 評価項目名を第2図のようにディスプレイに表示する。
- 年代区分ごとに各評価の割合を次の計算式で求め、集計結果を第2図のようにディスプレイに表示する。なお、評価は 満足 から 不満 の順に、年代区分は 60歳以上 から 19歳以下 の順に表示する。

$$\text{各評価の割合} = \text{各評価の回答件数} \times 100 \div \text{年代区分ごとの回答件数}$$

- キーボードから 0 が入力されたら処理を終了する。

<Javaプログラム>

//クラスKaito

```

public class Kaito {
    public static String[] nenKubun = { "", "19歳以下", "20~39歳", "40~59歳", "60歳以上" };
    public int[] nenSu = new int[5];
    public int[] hyoSu = new int[21];
    public String hyoMei;
    public Kaito(String hyoMei) {
        this.hyoMei = hyoMei;
    }
    public void syukei(int nenrei, int hyoka) {
        int nenSoe;
        if( (1) >= 60) {
            nenSoe = 4;
        } else {
            nenSoe = nenrei / 20 + 1;
        }
        nenSu[nenSoe] = nenSu[nenSoe] + 1;
        int hyoSoe = (nenSoe - 1) * 5 + hyoka;
        hyoSu[hyoSoe] = (2);
    }
    public void output() {
        System.out.println("【評価項目名 : " + (3) + "】");
        System.out.print("年代区分      満足      やや満足      普通      やや不満      不満");
        int h = 5;
        for(int i = 20; i >= 1; i--) {
            int amari = i % 5;
            if(amari == 0) {
                h = h - 1;
                System.out.printf("¥n%s ", nenKubun[h]);
            }
            double wari = (double) (4);
            System.out.printf(" %3d件(%.1f%)", hyoSu[i], wari);
        }
        System.out.println();
    }
}

```

//クラスKaitoBunseki

import java.io.BufferedReader;

```

{
public class KaitoBunseki {
    public static void main(String[] args) throws IOException {
        String[] hyoMei = { "", "客室", "食事", "接客", "風呂", "設備", "料金" };
        Kaito[] kt = new Kaito[7];
        for(int k = 1; k <= 6; k++) {
            kt[k] = new Kaito(hyoMei[k]);
        }
        BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("anketo.csv"));
        String line;
        while((line = fileIn.readLine()) != null) {
            String[] str = line.split(",");
            int kaiBan = Integer.parseInt(str[0]);
            int nenrei = Integer.parseInt(str[1]);
            int hyoBan = Integer.parseInt(str[2]);
            int hyoka = Integer.parseInt(str[3]);
            kt[hyoBan].syukei(nenrei, hyoka);
        }
        fileIn.close();
        Scanner sc = new Scanner(System.in);
        System.out.print("評価項目番号を入力してください→");
        int nBan = sc.nextInt();
        while(nBan != 0) {
            (5);
            System.out.print("評価項目番号を入力してください→");
            nBan = sc.nextInt();
        }
        sc.close();
    }
}

```


[7] プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある革製品販売店の商品データと1か月分の販売データを読み、処理結果を表示する。

入力データ

商品データ (ファイル名: syohin.csv)

商品コード	商品名	単価
××	×~×	×××××

(第1図)

販売データ (ファイル名: hanbai.csv)

日付	商品コード	数量	区分
××	××	××	×

(第2図)

ユーザーフォーム・実行結果

<分類別集計>

分類名	売上金額計
ポーチ	264,500
キーケース	182,000
名刺入れ	124,000
財布	610,000
バッグ	468,000
合計	1,648,500

(Label1)

贈答用包装金額計 17,500 (Label12)

分類番号 (TextBox1)

分類名 (Label13)

<分類内商品別集計>

商品名	数量計	うち贈答用 包装数	売上金額	割合
フラットポーチS	1	1	3,500	1.3%
フラットポーチL	5	2	22,500	8.5%
トラベルポーチS	4	0	30,000	11.3%
トラベルポーチL	11	1	121,000	45.7%

(Label14)

(第3図)

処理条件

1. 第1図の商品データは、商品コードの昇順に記録されている。なお、第1図と第2図の商品コードは、次の例のように構成されている。また、分類番号は1(ポーチ)~5(バッグ)の5種類であり、商品番号は分類ごとに1~6の連番である。

例 34 → 3 4
 分類番号 商品番号

2. 第2図の区分は0(通常)と1(贈答用包装)である。

3. ユーザーフォーム初期化時に次の処理を行う。

- ・ 配列 Bmei に分類名を記憶する。なお、Bmei の添字は分類番号と対応している。

配列

Bmei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		ポーチ	キーケース	名刺入れ	財布	バッグ

- ・ 第1図の商品データを読み、配列 Smei に商品名を、配列 Tanka に単価を記憶する。なお、Smei と Tanka の添字は対応している。

配列

Smei	(0)	(1)	~	(6)	~	(25)	~	(30)	
		フラットポーチS	~	トラベルポーチL	~	黄クラッチバッグ	~	白トートバッグ	
Tanka	(0)	(1)	~	(6)	~	(25)	~	(30)	
			3500	~	11000	~	18000	~	24000
			(ポーチ)		~	(バッグ)			

- ・ 第2図の販売データを読み、売上金額を次の計算式で求め、配列 Buri に集計する。なお、Buri(0)には合計を求め、また、Buri の添字は分類番号と対応している。

売上金額 = 数量 × 単価

配列

Buri	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(合計)

- ・ 配列 Ssu に数量を集計する。ただし、区分が1の場合は、配列 Zsu にも数量を集計する。なお、Zsu(0)には合計を求める。また、Ssu と Zsu の添字は配列 Smei の添字と対応している。

配列

Ssu	(0)	(1)	~	(6)	~	(25)	~	(30)
			~		~		~	
Zsu	(0)	(1)	~	(6)	~	(25)	~	(30)
			~		~		~	
	(合計)	(ポーチ)		~	(バッグ)			

- ・ データを読み終えたあと、分類名と分類名ごとの売上金額計、売上金額計の合計を Label1 に表示する。
- ・ 贈答用包装金額計を次の計算式で求め、Label12 に表示する。

贈答用包装金額計 = 贈答用包装の数量合計 × 500

4. 第3図のように、表示したい分類番号を TextBox1 に入力し、「表示」ボタンをクリックすると次の処理を行う。

- ・ 分類名を Label13 に表示する。
- ・ 表示したい分類名に該当する商品について、商品名ごとに売上金額を次の計算式で求める。

売上金額 = 商品名ごとの数量計 × 単価

- ・ 商品名ごとに割合を次の計算式で求め、商品名から割合までを Label14 に表示する。

割合 = 商品名ごとの売上金額 × 100 ÷ 分類名ごとの売上金額計

<マクロ言語プログラム>

```
Option Explicit
Dim Bmei(5) As String, Smei(30) As String, Tanka(30) As Long, Kin As Long, Buri(5) As Long, Ssu(30) As Long, Zsu(30) As Long
```

```
Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim e As Long, Scode As Long, Hi As Long, Suryo As Long, Kubun As Long, Bban As Long, Sban As Long, Soe As Long
    Dim f As Long, Zkei As Long
    Bmei(1) = "ポーチ": Bmei(2) = "キーケース": Bmei(3) = "名刺入れ": Bmei(4) = "財布": Bmei(5) = "バッグ"
    Label1.Caption = "": Label2.Caption = ""
    Call Syokika
    Open ThisWorkbook.Path & "\syohin.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        e = e + 1
        Input #1, Scode, Smei(e), Tanka(e)
    Loop
    Close #1
    Open ThisWorkbook.Path & "\hanbai.csv" For Input As #2
    Do While Not EOF(2)
        Input #2, Hi, Scode, Suryo, Kubun
        Bban = Int(Scode / 10)
        Sban = Scode Mod 10
        Soe = (Bban - 1) * 6 + Sban
        Kin = Suryo * Tanka(Soe)
        Buri(Bban) = (1)
        Buri(0) = Buri(0) + Kin
        Ssu(Soe) = Ssu(Soe) + Suryo
        If (2) Then
            Zsu(Soe) = Zsu(Soe) + Suryo
            Zsu(0) = Zsu(0) + Suryo
        End If
    Loop
    Close #2
    For (3)
        Label1.Caption = Label1.Caption & Bmei(f) & " " & _
            Format(Format(Buri(f), "###,##0"), "#####") & Chr(13) & Chr(10)
    Next f
    Label1.Caption = Label1.Caption & " 合計 " & Format(Format((4), "#,###,##0"), "#####")
    Zkei = Zsu(0) * 500
    Label2.Caption = Format(Zkei, "##,##0")
End Sub
```

```
Private Sub 表示_Click()
    Dim Nban As Long, Owa As Long, Haj As Long, g As Long, Wari As Double
    Label4.Caption = ""
    Nban = Val(TextBox1.Text)
    Label3.Caption = Bmei(Nban)
    Owa = Nban * 6
    Haj = Owa - 5
    For g = Haj To Owa
        Kin = Ssu(g) * Tanka(g)
        Wari = (5)
        Label4.Caption = Label4.Caption & Smei(g) & " " & Format(Format(Ssu(g), "#0"), "@@") & " " & _
            Format(Format(Zsu(g), "#0"), "@@") & " " & _
            Format(Format(Kin, "###,##0"), "#####") & " " & _
            Format(Format(Wari, "##0.0"), "#####") & "% " & Chr(13) & Chr(10)
    Next g
End Sub
```

```
Private Sub クリア_Click()
    Call Syokika
End Sub
```

```
Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokika()
    TextBox1.Text = "": Label3.Caption = "": Label4.Caption = ""
End Sub
```

(注) 使用例 `Format(Format(1234.5, "###,##0.0"), "#####")`
 → [1,234.5]
 → [1,234.5]

(令和3年1月31日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和2年度(第64回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			回		

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計

..... 【Java】・【マクロ言語】

【7】	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	

試験場校名	受験番号	選択言語		小計	合計
		Java	マクロ言語		

選択言語を で囲むこと

(令和3年1月31日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和2年度(第64回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	コ	ア	カ	イ	キ	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ケ	エ	オ	ク	ア	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	イ	イ	ウ	ア	

小 計
30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	1	1101	3 回	11011	ウ	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	オ	イ	コ	カ	ウ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	キ	ケ	ア	エ	ク	

小 計
45

..... 【Java】・【マクロ言語】

【Java】 (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	<code>n e n r e i</code>
	(2)	<code>h y o S u [h y o S o e] + l</code>
	(3)	<code>h y o M e i</code>
	(4)	<code>h y o S u [i] * 1 0 0 / n e n S u [h]</code>
	(5)	<code>k t [n B a n] . o u t p u t ()</code>

【マクロ言語】 (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	<code>B u r i (B b a n) + K i n</code>
	(2)	<code>K u b u n = l</code>
	(3)	<code>f = l T o 5</code>
	(4)	<code>B u r i (0)</code>
	(5)	<code>K i n * 1 0 0 / B u r i (N b a n)</code>

各5点 計25点

小 計	合 計
25	100